

こばやし よういちろう
小林 陽一郎 (理工学群 化学類 4年)



「T-1」って何？

笑いだ！祭りだ！お笑い祭りだ！

大学2年生の時、私が友人に「つくばでM-1グランプリ（漫才の日本一を決める大会）みたいなことできないかな？」と発言したことから始まりました。なぜ、今、つくばでお笑いの大会をするのか？

話は変わりますが、「つくば」といえば「研究」の街と言われます。つくばは国の試験研究機関を移転し計画的に作られた「筑波研究学園都市」の印象が強いですから、やや堅苦しい学問・研究のイメージがあるのかもしれません。本年度公開の映画『シン・ゴジラ』（2016）の劇中にて、ゴジラの体内にある元素を解析する施設の置かれた場所として「つくば」が登場します。その一方、お笑いコンビ『ラーメンズ』はネタの中で「筑波研究学園都市」を「悪の組織」と言って嗤いました。つくば市のキャッチフレーズは「わたしのつくばをみつけよう。」です。勉強、人間関係に疲れて大学・つくばを嫌いになりかけた時、ふと自分が見て育った、唯一寄り添える「お笑い」のことを思い出し、その「お笑いのつくば」があってもいいかな、と思ったのです。

ここで、冒頭の私の発言に戻ります。何と言っても、どう言い訳しても「T-1グランプリ」は、上述の後付け半分、ノリ半分から始まっています。そんな「つくばで一番面白い人を決める」大会も今年で3年目になり、もうここまで来たら後には引けません。つくば発のお笑いコンテンツを目標に、つくばを「研究」と「お笑い」が共存するような街に少しでも近づけるよう活動し続けます。



T-1グランプリ2015の優勝者

で、実際は何やってるの？

私たちの活動は、年に一度、年末につくばで行うお笑いグランプリ「T-1グランプリ」の開催準備・運営を行うことです。筑波大学内、他の大学からお笑いをやりたい人を集め、団体や学校を超えた大会作りをしています。例年は、一人芸、漫才、コントによる出場者の方たちのエントリーがあり、当日来たお客さんの投票により1位を決めます。ほとんどの方が、T-1で初めてお笑いをやるというのが今大会の特徴です。

また、「T-1グランプリ」の他、お題に即興で答える「大喜利ライブ」を開催しています。昨年度は、「お笑い」を科目として考え「お笑いの期末試験をしよう」という発想の元行った投稿型の大喜利「お笑いモジュール期末試験」も実施しました。人前でネタをやるのが少し抵抗ある方も、気軽に参加できる企画を行うことにより、多くの方を巻き込めるような企画運営を目指します。

参加者募集中!!

人前で面白いことをして、それが「ウケた」瞬間の快感は凄まじいものです。それはきっと自分の面白いことが他人に伝わった、すなわちコミュニケーションの成功が嘘のない「笑い声」ですぐに分かるからだと思います。

そんな、一度ウケたらその快感を忘れることができない「お笑い」をぜひ経験してみませんか？今年度は優勝賞金3万円を設定し、例年より大きなお笑いグランプリになることが予想されます。一度、人前でお笑いをやってみたい方、またお笑いの大会の運営に携わってみたい方を募集しております。お気軽に、ご連絡、ご質問ください。

お笑い好きな方、やりたい方いませんか？

T-1グランプリ2016実行委員会

問合せ先：t1grandprix2016@gmail.com

Twitter：@T_1grandprix

エントリーフォームQRコード
(エントリーの際には公式Twitter
にあるエントリー要綱を一度ご覧
ください。)

